



不動印 L-1000 施工要領書

1. 混練

(1) 混練機

施工量に適した大きさの、モルタルミキサー等の強制攪拌式ミキサーを使用して下さい。

(2) 配合水

清水（飲用に適するもの）を使用して下さい。

(3) 配合水量

標準量は140～160%（重量比）です。

(4) 混練時間

3～5分間が適当です。

(5) 混練方法

材料をミキサーに投入し、攪拌しながら配合水を加えて混練します。

規定の配合水量の2/3を速やかに加え、残りを徐々に加えて軟度を調整して下さい。

混練物の軟度はJISに規定されている標準軟度が適切です。

『注意』

粉塵を吸入した時、呼吸器への影響を生じる恐れがあり、また、目に入った場合
障害の原因となる恐れがあります。
施工時には、防塵マスクおよび保護メガネを着用して下さい。

『注意』

目に入った時	:	直ちに清浄な水で15分間以上洗浄した後、眼科医の診断を受けて下さい。
皮膚に付いた時	:	多量の水、石鹼で洗い流して下さい。異常がある場合は、 医師の診断を受けて下さい。
飲み込んだ時	:	多量の水を飲ませて、吐かせて下さい。 状況に応じ、医療措置を受けて下さい。

2. こて塗り施工

混練物を十分に手で押し込みながら施工箇所に充填します。

特に支持金物の裏側は空隙や欠陥が生じやすいため、突き棒や小型のコテを使って入念に押し込みます。

3. 養生

(1) 施工後は常温で24時間以上静置して下さい。湿潤養生は必要ありません。

(2) 特に冬場では雰囲気温度を5℃以上に保って下さい。

4. 加熱乾燥

所定の昇温スケジュールに従って加熱昇温して下さい。

標準的な昇温スケジュールは、次の要領で行います。

管理温度は、耐火材表面温度を基準とします。

(1) 昇温速度

室温～300℃ 25℃/hr以下

300℃以上 50℃/hr以下

(2) 温度保持

100～200℃ 施工厚10mm毎に1hr以上保持

300℃ 施工厚20mm毎に1hr以上保持

『注意』

急速に昇温した場合、水蒸気爆裂を起こすことがあり、破片の飛散による災害の恐れがあります。所定の昇温スケジュールに従って加熱昇温して下さい。また、昇温中の施工体周囲は立ち入り禁止として下さい。

5. 保管

(1) 湿気の少ない乾燥した場所に保管して下さい。

内部に固まりがあるものは、使用しないで下さい。

(2) 容器（紙袋）の破損や、荷崩れ等のしないように、注意して取り扱って下さい。

(3) 開封した製品は、早く使用して下さい。

6. 廃棄

『注意』

廃棄する際は、使用前、使用后ともに、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

東興ジオテック株式会社

広島工場 〒739-0146 東広島市八本松飯田9丁目10-1 TEL 082(428)0003